

基本計画 見直し箇所

NO	ページ	行	見直し前	見直し後
1	39	5	災害発生時の被害を最小限にとどめるため、迅速かつ適切な情報伝達や避難誘導體制の構築のほか、防災備蓄品や資機材等の充実、 <u>防災拠点の耐震化等を推進し</u> 、防災・減災体制の強化を図ります。	災害発生時の被害を最小限にとどめるため、迅速かつ適切な情報伝達や避難誘導體制の構築のほか、防災備蓄品や資機材等の充実、 <u>防災拠点となる役場庁舎の整備等を推進し</u> 、防災・減災体制の強化を図ります。
2	45	5	持続可能な循環型社会を推進するため、町民・事業者・行政が協働して、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの実践、 <u>温室効果ガスの削減</u> に努めます。	持続可能な循環型社会を推進するため、町民・事業者・行政が協働して、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの実践、 <u>2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）</u> に向けた取り組みに努めます。
3	54	9	これからは、超高速ブロードバンドをはじめとした情報通信基盤の充実を図るとともに、時代に応じた最新技術の動向も視野に入れながら、地域情報化の推進に努めていかなければなりません。	これからは、超高速ブロードバンドをはじめとした情報通信基盤の充実を図るとともに、 <u>国が進めるデジタル田園都市国家構想や、時代に応じた最新技術の動向を視野に入れながら</u> 、地域情報化の推進に努めていかなければなりません。
4	58	13	これからは、健康寿命の延伸に向けて、「こころ」と「からだ」の両面からの健康づくりが求められています。	これからは、健康寿命の延伸に向けて、「こころ」と「からだ」の両面からの健康づくりが求められています。 <u>加えて、新型コロナウイルス感染症等の世界的流行を教訓とし、ワクチン接種をはじめとした、感染症対策等に迅速な対応が可能となる環境づくりが求められています。</u>
5	61	22	—	<u>事業：2-2-5 町民に愛される町立病院改革</u> <u>町民から信頼され笑顔と思いやりのある持続可能な病院づくりを目指し、独立採算性を前提とした抜本的な経営改善や、町民視点に立ったおもいやりのある人材育成などに取り組みます。</u>
6	64	10	子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の一員として、いきいきと自立した生活を安心して送ることができるよう、地域で見守り・支え合う体制づくり等を推進しながら、自助、共助、公助による地域共生社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。	子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の一員として、いきいきと自立した生活を安心して送ることができるよう、 <u>ユニバーサルデザイン化や、地域での見守り・支え合う体制づくり等を推進しながら</u> 、自助、共助、公助による地域共生社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。
7	72	11	加えて、変化する教育内容や制度に対応した教育環境の整備、学校施設の計画的な老朽化対策等、子どもの教育環境の充実も求められています。	加えて、変化する教育内容や制度に対応した教育環境の整備、学校施設の計画的な老朽化対策、 <u>地域との協働による多様な活動等</u> 、子どもの教育環境の充実も求められています。
8	73	15	また、すべての子どもが経済的不安を持たずに学ぶことができるよう、就学援助などの支援の充実を図ります。	また、すべての子どもが経済的不安を持たずに学ぶことができるよう、 <u>給食費の一部無償化や就学援助などの支援の充実を図り、子育て世帯への経済的負担軽減に努めます。</u>
9	82	15	これからは、男女の固定的な役割分担意識の解消や、共に担う子育て意識の醸成をはじめ、地域活動における男女共同参画の推進等を図り、ともに輝くまちづくりを進めていかなければなりません。	これからは、男女の固定的な役割分担意識の解消や、共に担う子育て意識の醸成をはじめ、地域活動における男女共同参画の推進等を図り、ともに輝くまちづくりを進めていかなければなりません。 <u>加えて、性別、人種、性的指向などの特性を超えて、互いに多様性を認め合い尊重し、皆が活躍できる環境づくりが求められています。</u>

※上記のほか、個別計画等について更新しています。